

# 平成29年度 全国学力・学習状況調査における 香美町の調査結果のまとめ(概要)

## 1 調査の概要 <P1>

## 2 本町の状況 <P1>

### (1) 教科に関する調査の状況 <P1>

ア 小学校に関する状況

イ 中学校に関する状況

ウ 教科ごとの状況

(ア) 全国の正答率を上回っている問い

(イ) 全国の正答率を下回っている問い及び誤答分析・考察

### (2) 児童生徒質問紙・学校質問紙に関する調査の状況 <P19>

ア 自己変容の状況について(小6時と中3時の3年間の経過から) <P19>

イ 新しい学習指導要領実施に向けて <P23>

(ア) 主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善に向けた取組状況から

(イ) 教職員の資質能力向上の取組状況から

(ロ) カリキュラムマネジメントの取組状況から

(ハ) 小中連携の取組状況から

(ニ) 学習評価の在り方から

ウ これまでの回答状況の変化から <P27>

### (3) 質問紙と学力のクロス分析の状況から <P33>

## 3 今後の取組の方向性について <P37>

平成29年12月

香美町教育委員会



## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

本調査は、香美町における児童生徒の学力や学習状況を分析・把握し、本町の教育施策の成果や課題を検証し、その改善を図るとともに、各小・中学校における児童生徒への教育指導の充実や学習・生活状況の改善等に役立てることを目的とする。

なお、本調査において測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面である。

### (2) 実施期日 平成29年4月18日(火)

### (3) 調査実施校数及び人数

- ・小学校6年生：10校 151人
- ・中学校3年生：4校 167人

### (4) 調査内容

- ア 教科に関する調査(国語、算数・数学)
  - (ア) 主として「知識」に関する問題(A)
  - (イ) 主として「活用」に関する問題(B)
- イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - (ア) 児童生徒に対する調査
  - (イ) 学校に対する調査



## 2 本町の状況

### (1) 教科に関する調査の状況

#### 【調査結果の分析の基準】

全国平均正答率を基準とした時の割合	全国と比較した時の表現
+5.1%以上	上回る
±5.0%以内	同程度
-5.1%以下	下回る

#### ア 小学校に関する状況

教科等		香美町の結果
国語	A(知識)	同程度
	B(活用)	同程度
算数	A(知識)	同程度
	B(活用)	同程度

イ 中学校に関する状況

教科等		香美町の結果
国語	A（知識）	同程度
	B（活用）	同程度
数学	A（知識）	同程度
	B（活用）	同程度

【調査結果の概要】

- 香美町の正答率は、全国と比較して、いずれの教科においても小学校、中学校とも「同程度」である。同基準により兵庫県と比較した場合も「同程度」である。
- 「主として知識」（いわゆるA問題）と「主として活用」（いわゆるB問題）との正答率を比較した時、「主として知識」の正答率の方が、「主として活用」を上回り、昨年度までの調査と同様の傾向を示している。

ウ 教科ごとの調査の状況

【調査結果の概略】

◇小学校◇

（国語）

- ・ 正答、誤答、無解答の各割合や領域ごとの正答率の割合、正答数の児童の割合とも、全国と同様の傾向を示している。
- ・ B問題における記述式の問いに対して、やや課題がみられる。

（算数）

- ・ 「数量関係」、「図形」の領域の問いに対してやや課題がみられる。
- ・ 数量や図形について理解したり、理由を記述したりする問いにやや課題がみられる。

◇中学校◇

（国語）

- ・ いずれの領域においても、全国の正答率をやや上回っている。評価の観点別正答率も同様の傾向にある。
- ・ 問題形式では、B問題の選択式にやや課題がみられる。

（数学）

- ・ 「資料の活用」を除く他の領域は、全国の正答率をやや上回っている。
- ・ 正答、誤答、無解答の各割合や領域ごとの正答率の割合、正答数の生徒の割合とも、全国と同様の傾向を示している。
- ・ 数学的な表現を用いて理由を説明する記述式の問いにやや課題がみられる。

**(7) 全国の正答率を上回っている「問い」**

**◆小学校**

**国語A** **国語B**とも「該当なし」  
**算数A** **算数B**とも「該当なし」



**◆中学校**

**国語A**

**【7】書き**

生徒会だより 第一中学校生徒会

（生徒会長挨拶）

二年1組 池田 一郎

（立候補の理由）

生徒会が生き生きと活躍できる学校にします！

- 意見書の役割  
生徒会の意見箱に入れたら大変なほど、その内容をそのままに扱って、生徒会長に送ります。
- 生徒会のよりの決断  
皆さんが選ばれている理由は、生徒会のよりの決断で、第一中学校の生徒のよさを生徒会長に伝えます。

（推薦の理由）

池田さんは、毎週に習字をする人です。推薦するキャラクターで、いつも机の上より先がグラウンドに行くと、一生懸命に練習をしています。また、周りのみんなのことを考えて活躍する人です。

池田さんは、第一中学校の生徒会長としてふさわしい人だと思っています。

（二年1組 林 真希）

※「生徒会だより」の構成要素として、このように記載されています。

**【5】— 「B 書くこと」**

**<分析>**

生徒会だよりの「立候補者から」の欄の書き方の説明について、文章の構成を工夫して、分かりやすく書くことができるかどうかをみる問いである。

全国の正答率は約8割である。香美町の生徒はそれ以上の正答率を示している。

(※問題文は当日の問題用紙及び報告書からの引用 以下同じ)

**【8】読むこと**

祖母

「祖母」という詩の各連の関係についての説明で最も適切なものを選ぶ設問であり、文章の表現の仕方について、自分の考えをもつことができるかどうかをみる問いである。

全国の正答率は8割を超えている。香美町の生徒の正答率は約9割である。

**【8】— 「C 読むこと」**

**<分析>**

「祖母」という詩の各連の関係についての説明で最も適切なものを選ぶ設問であり、文章の表現の仕方について、自分の考えをもつことができるかどうかをみる問いである。

全国の正答率は8割を超えている。香美町の生徒の正答率は約9割である。

**【9】— 1, 2, 3 三ア、イ**

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

**<分析>**

学年別漢字配当表に示されている漢字を、文脈に即して正しく書くことができるかどうかをみる問いである。「規模」が約7割（全国6割台）、「延期」が8割以上（同6割台）、「(営)む」が9割以上（同8割台）書けている。

また、慣用句、ことわざでは、7割から8割の正答率である。「急がば回れ」を選択する問いは平成26年度のA問題として出題されており、その時よりも正答率は11ポイント上昇している。

**【9】— 1, 2, 3 三ア、イ**

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

**<分析>**

学年別漢字配当表に示されている漢字を、文脈に即して正しく書くことができるかどうかをみる問いである。「規模」が約7割（全国6割台）、「延期」が8割以上（同6割台）、「(営)む」が9割以上（同8割台）書けている。

また、慣用句、ことわざでは、7割から8割の正答率である。「急がば回れ」を選択する問いは平成26年度のA問題として出題されており、その時よりも正答率は11ポイント上昇している。



## 数学A

1 次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

(1)  $\frac{5}{9} \times \frac{2}{3}$  を計算しなさい。

2 次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

(1) 5 mの重さが $a$  gの針金があります。この針金の1 mあたりの重さは何gですか。 $a$  を用いた式で表しなさい。

(2)  $a$  と  $b$  の関係が  $100 - 20a = b$  の式で表される場面を、下のアからオまでの中から1つ選びなさい。

ア 1個100円のガムを1個と、1個20円のおめを $a$ 個買ったときの代金は $b$ 円でした。

イ 1個100円のガムを20円引きで $a$ 個買ったときの代金は $b$ 円でした。

ウ 1個100円のガムと1個20円のおめを、それぞれ $a$ 個ずつ買ったときの代金は $b$ 円でした。

エ 100円で1個20円のおめを $a$ 個買ったときのおつりは $b$ 円でした。

オ 100円で1個20円のおめを1個と1個 $a$ 円のガムを1個買ったときのおつりは $b$ 円でした。

(3)  $(2x + 5y) - (6x - 3y)$  を計算しなさい。

(4) 等式  $x + 4y = 1$  を  $y$  について解きなさい。

3 次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

(4) 連立方程式 
$$\begin{cases} x + y = 5 \\ \frac{x}{6} + \frac{y}{3} = 1 \end{cases}$$
 を解きなさい。

### 1- (1) 「A 数と計算」

<分析>

分数の乗法の計算ができるかどうかをみる問いである。小学校第6学年での既習事項であり、全国でも相当数の生徒ができている。香美町の生徒の正答率は、全国よりも6ポイント程度高い。

### 2- (2)、(3)、(4) 「A 数と式」

<分析>

与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ること、整式の加法と減法の計算、等式の目的に応じた変形ができるかどうかをみる問いである。中学校第1・2学年での既習事項である。各正答率に差はあるものの、香美町の生徒の正答率は、全国よりもそれぞれ6～7ポイント程度高い。

### 3- (4) 「A 数と式」

<分析>

簡単な連立二元一次方程式を解くことができるかどうかをみる問いである。中学校第2学年での既習事項である。香美町の生徒の正答率は、全国よりも約13ポイント程度高い。

一方、無解答率は全国よりも5ポイント程度低い。

7 次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1)  $AB = AC$ である二等辺三角形ABCがあります。辺BCの中点をMとして、線分AMをひきます。このとき、 $\angle BAM = \angle CAM$ であることを下の図のように証明しました。



証明

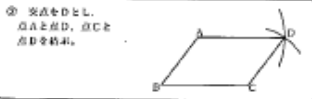
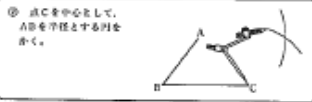
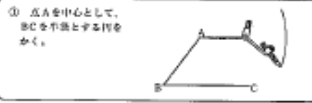
△ABMと△ACMにおいて、  
 仮定から、 $AB = AC$  ……①  
 $BM = CM$  ……②  
 共通な辺だから、 $AM = AM$  ……③  
 ①、②、③より、がそれぞれ等しいから、  
 $\triangle ABM \cong \triangle ACM$   
 合同な図形の対応する角は等しいから、  
 $\angle BAM = \angle CAM$

上の証明のに当てはまる言葉を書きなさい。

(2) 次の図のように、点A、B、Cがあり、点Aと点B、点Bと点Cを結びます。



下の①、②、③の手順で点Dを作り、平行四辺形ABCDをかきます。



前ページの①、②、③の手順では、どのようなことがらを根拠にして平行四辺形ABCDをかいていますか。下のAからEまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

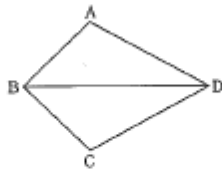
- A 2組の向かい合う辺がそれぞれ平行な四角形は、平行四辺形である。
- イ 2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。
- ウ 2組の向かい合う角がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。
- エ 1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しい四角形は、平行四辺形である。
- オ 対角線がそれぞれの中点で交わる四角形は、平行四辺形である。

7- (1)、(2) 「B 図形」

<分析>

証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解しているか、また、作図の手順を読み、根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解しているかどうかをみる問いである。中学校第2学年での既習事項である。香美町の生徒の正答率は、全国よりも6～9ポイント高く、三角形の合同条件についての理解や三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたりする力などは良好であると考えられる。

8 次の図の四角形ABCDについて、下のことがらが成り立ちます。



$\angle ABD = \angle CBD$ ,  $\angle ADB = \angle CDB$ ならば、 $AB = CB$ である。

上のことがら「 $\angle ABD = \angle CBD$ ,  $\angle ADB = \angle CDB$ ならば、 $AB = CB$ である。」の中で、仮定にあたる部分をすべて書きなさい。

8 「B 図形」

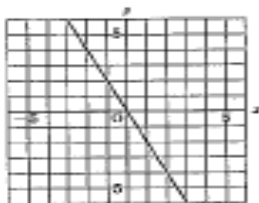
<分析>

命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を読み取ることができるかどうかをみる問いである。中学校第2学年での既習事項であり、9割近い生徒が、仮定部分と結論部分を区別して理解できている。

10 次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 比例  $y = 4x$  について、 $x$ の値が3のときの $y$ の値を求めなさい。

(2) 下の図の直線は、比例のグラフを表しています。このグラフについて、 $y$ を $x$ の式で表しなさい。



10- (1)、(2) 「C 関数」

<分析>

与えられた比例の式について、 $x$ の値に対応する $y$ の値を求めること、与えられた比例のグラフから、 $x$ と $y$ の関係を式に表すことができるかどうかをみる問いである。

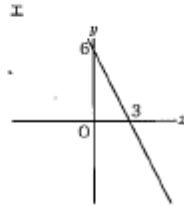
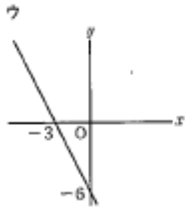
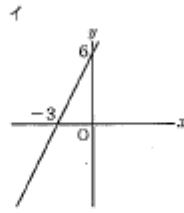
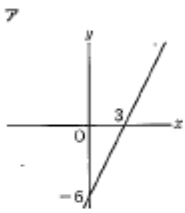
中学校第1学年での既習事項であり、特に、(1)は9割の生徒ができています。



11 次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1)  $y$  は  $x$  の一次関数で、そのグラフの傾きは3、切片は2です。  
 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。

13 下のアからエまでの中に、二元一次方程式  $2x + y = 6$  の解を座標とする点の全体を表すグラフがあります。そのグラフとして正しいものを1つ選びなさい。



11 「C 関数」

<分析>

与えられた一次関数のグラフの傾きと切片の値をもとに、 $x$  と  $y$  の関係を  $y = ax + b$  の式で表すことができるかどうかをみる問いであり、8割の生徒ができています。

13 「C 関数」

<分析>

二元一次方程式を関数を表す式とみて、そのグラフの傾きと切片の意味を理解しているかどうかをみる問いである。中学校第2学年での既習事項である。香美町の生徒の正答率は、全国よりも約10ポイント程度高い。

また、択一式ではあるものの、無解答の生徒も極めて少ない。

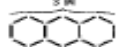


# 数学B

2 次の図のようにストローを並べて、六角形を  $n$  個つくるのに必要なストローの本数を考えます。



例えば、六角形を3個つくるのに必要なストローは16本です。



次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

- (1) 六角形を  $n$  個つくるのに必要なストローの本数を求めなさい。
- (2) 図1のようにストローを並べると、六角形を  $n$  個つくるのに必要なストローの本数は、次のように説明できます。



図1

説明  
ストローを図1のように並べると、1つの六角形にストローが6本ある。そのほか  $n-1$  個あるので、この数だけで数えたストローの本数は  $6n$  本になる。このとき、2回重なっているストローが  $n-1$  本あるので、必要なストローの本数は  $6n$  本より  $n-1$  本少ない。  
したがって、六角形を  $n$  個つくるのに必要なストローの本数を表す式は、 $6n - (n - 1)$  になる。

上の説明の  $n-1$  には、同じ次が当てはまります。  
 $n-1$  に当てはまる式を、 $x$  を用いて表しなさい。

4 次の図のように、二等辺三角形ABCの辺BC、CA上にBD = CEとなる点D、Eをとれさせます。また、線分ADと線分BEの交点をFとします。ただし、点DはAB、Cと、点EはAC、Aと異なるものとします。



次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

- (1) 図1において  $\triangle ABD \cong \triangle BCE$  を示し、それをもとにして、 $\angle BAD = \angle CBE$  であることを証明できます。 $\angle BAD = \angle CBE$  となることの証明を完成しなさい。

証明

$\triangle ABD$  と  $\triangle BCE$  において、  
合同な図形の対応する角は等しいから、  
 $\angle BAD = \angle CBE$

## 2- (2) 「A 数と式」

### <分析>

与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現することができるかどうかをみる問いである。香美町の生徒の正答率は、全国よりも約7ポイント程度高い。

(2) 次の図2のように、図1の  $\angle BAD$  と  $\angle CBE$  を  $20^\circ$  とします。このとき、 $\angle BEA$  の大きさを求めなさい。



## 4- (2) 「B 図形」

### <分析>

付加された条件の下で、図形の性質を用いることができるかどうかをみる問いである。香美町の生徒の正答率は、全国よりも、約7ポイント程度高い。また、無解答の生徒が1割程度いる。

5 体育委員会が、全校生徒の体力向上のために、1週間420分(1日あたり60分)運動することを目標にしようと考えています。そこで、体育委員会では、全校生徒の1週間の総運動時間を調べるアンケートを実施しました。体育委員の若菜さんは、全校生徒のうち女子の割合を、下の表に示す表にまとめました。

1週間の総運動時間の度数分布表(女子)

階級(分)	人数(人)	
以上	未満	
0 ~ 300	55	
300 ~ 600	12	
600 ~ 900	20	
900 ~ 1200	29	
1200 ~ 1500	15	
1500 ~ 1800	6	
1800 ~ 2100	2	
合計	146	

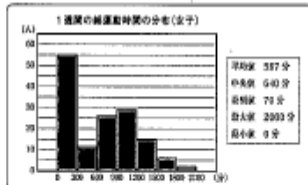
次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

- (1) 1週間の総運動時間の度数分布表(女子)において、620分が含まれる階級の度数を答えなさい。



(2) 若菜さんは、女子の1週間の総運動時間について調べたところ、次のようにまとめた。

若菜さんが調べたこと



若菜さんの1週間の総運動時間は670分です。全校生徒の女子の中で、若菜さんの1週間の総運動時間より長い人が多いか、少ないか多いのかは、670分がある値と比べるとわかりません。そのほか、下のAからEまでの中にあります。それを1つ選びなさい。

- A 平均値
- E 中央値
- ウ 最頻値
- エ 最大値
- オ 最小値

## 5- (1)、(2) 「D 資料の活用」

### <分析>

資料から必要な情報を適切に読み取ったり、与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈したりすることができるかどうかをみる問いである。香美町の生徒の正答率は、全国よりも、約7ポイント~9ポイント程度高い。

(イ) 全国の正答率を下回っている「問い」

◆小学校

国語A

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないようなよれがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よれを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたいくなりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

ア

ウ

イ

2

2-1 「書くこと」

＜誤答分析・考察＞

点線で囲まれ指示された部分でどのようなことを書いているか問われている四択の問題である。

「今と昔の生活のちがいについて、体験して気づいたことを書いている。」が正答であるが、「山村さんの話の中で、一番心に残ったことを書いている。」を選択した者が、全体の4分の1程度いた。

これは、松本さんが体験して感じたことや分かったことの具体的な内容を捉えることができていなかったり、指示された範囲の文章の冒頭部分にのみ着目し、選択肢3の「心に残ったこと」という表現と結びつけたりしたためと考えられる。

松本さんは、昔の人々のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後、お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いています。次の【山村さんへの手紙】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

7

4年生のみなさんへ

放送委員会

委員会活動の体験のお知らせ


1 日時 2月19日(月)～2月22日(木)  
10時25分から10時45分まで

2 集合場所 多目的ルーム

3 参加 たいしゅう  
(1) 4年生の きぼう者  
(2)

4 申し込み 期限と申し込み方法  
(3)  
・ 2月14日(水)までに申しこんでください。  
・ 事務室前に申し込み用紙と箱が おいてあり  
(4) ます。用紙にクラスと名前を書いて、箱に入れ  
(5) てください。

5 お願い  
・ 当日は、全員が体験できるように、放送委員の 指示にしたがってください。  
(6)



7-1 (4) 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

＜誤答分析・考察＞

漢字を読んだり、書いたりする問いである。学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうかをみる問いである。「事務」を「じむ」と解答しているものの、「室」を「しつ」と解答していない者が全体の1割程度みられた。

学習した漢字を繰り返し書いて練習するのみならず、漢字の持つ意味を考えながら文や文章中で正しく使うことができるよう指導することも大切である。

(参考；「室」は第2学年配当漢字)

部に漢字の読みをひらがなで、……部のひらがなを漢字で、それぞれに書いて書きましょう。



## 2-3 「書くこと」

### <誤答分析・考察>

目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができるかどうかをみる問いである。

水やりが大変な理由を【アドバイス】の中から2つ取り上げるという条件を満たしていない解答をした者が、全体の約4割弱程度みられる。無解答者は全国、兵庫県とほぼ同程度である。

日常の学習活動において、国語科のみならず、各教科等においても、目的や意図に応じて、一定の条件のもとで簡単に書くというような学習活動を工夫するなどの取組が求められる。

性別	年齢	学年	正答	不正答	無解答
男	10	4	1	3	1
女	10	4	2	2	1
男	11	5	1	2	1
女	11	5	2	1	1
男	12	6	1	1	1
女	12	6	1	1	1

※この表は、調査結果の概略を示したもので、正確な数値を示すものではありません。詳細は、調査報告書をご覧ください。

【解説】  
○ 水やりが大変な理由を【アドバイス】の中から2つ取り上げるという条件を満たしていない解答をした者が、全体の約4割弱程度みられる。無解答者は全国、兵庫県とほぼ同程度である。  
○ 調査結果の概略を示したもので、正確な数値を示すものではありません。詳細は、調査報告書をご覧ください。

## 算数A

### 1

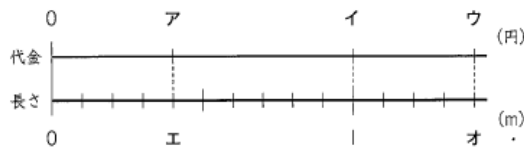
1 mあたりの値段が60円のリボンを何mか買います。  
そのときの代金の求め方を考えます。

(1) リボンを2 m買ったときの代金はいくらですか。また、リボンを3 m買ったときの代金はいくらですか。それぞれ答えを書きましょう。

(2) リボンを0.4 m買います。このときの代金を□円として、リボンの長さ  
と代金の関係を下の図に表します。

「1 mあたりの値段の60」、「買う長さの0.4」、「0.4 m分の代金の□」  
のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。

ア から オ までの中から、あてはまるものを1つずつ選んで、その  
記号を書きましょう。



### 2

次の計算をしましょう。

(1)  $123 \times 52$

(2)  $10.3 + 4$

(3)  $6 + 0.5 \times 2$

(4)  $5 \div 9$  (商を分数で表しましょう。)

## 1-(2) 「A 数と計算」

### <誤答分析・考察>

1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことができるかどうかをみる問いである。

「1 m当たりの値段の60」を数直線に表すことは約4分3程度の児童ができています。正答以外の組み合わせを選んでいる者が約3割程度みられることから、二つの数量（代金、長さ）の関係を適切に捉え、数直線に表されている数量と対応させることができていないと考えられる。

テープなどの具体物を実際に黒板に掲示し、数直線と合わせた図を用いて、児童が説明し合う活動などを取り入れる工夫も求められる。

## 2-(2)、(3) 「A 数と計算」「D 数量関係」

### <誤答分析・考察>

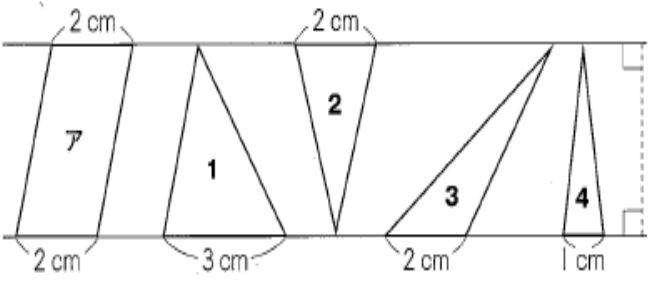
小数と整数の加法「(小数) + (整数)」の計算及び加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができるかどうかをみる問いである。

(2)で最も多い誤答は「10.7」で、全体の約4分の1を占める。また、(3)で最も多い誤答は「13」で、全体の約3割弱を占める。いずれも位を正しくそろえずに計算したり、乗法を先に計算せずに計算したりしたためと考えられる。

計算の順序についてのきまりを確実に理解できるようにすることが求められる。指導に当たっては、具体的な場面（例；体育科のハードル走）と関連付けながら理解できるようにすることが大切である。

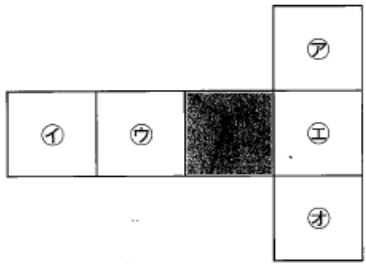
5

平行な2本の直線を使って、平行四辺形や三角形をかきました。  
 下の1から4までの三角形の中で、平行四辺形アの面積の、半分の面積であるものはどれですか。すべて選んで、その番号を書きましょう。



7

次の図は立方体の展開図です。



この展開図を組み立てたときに、色のついた面(黒)と平行になる面は、  
 アからオまでのうちどれですか。  
 下の1から5までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 ア
- 2 イ
- 3 カとキ
- 4 アとイとオ
- 5 アとカとキとオ

9

家でイスや机を削っているかどうかを、13人に聞いて、下のように記録しました。

回答番号	イス	机
1	○	×
2	×	×
3	○	×
4	○	○
5	○	×
6	×	×
7	○	×
8	×	×
9	○	○
10	×	○
11	○	×
12	×	×
13	○	×

次の記録を下の表に記入します。

		机		合計
		○	×	
イス	○	ア	イ	
	×	ウ	エ	
合計				オ

(1) 家の回答番号1番の人は上の表の「ア」から「エ」までのどの区間に入りますか。1つ選んで、その番号を書きましょう。  
 (2) 上の表の「オ」にはまだ数字を書きましよう。

5 「B 量と測定」

<誤答分析・考察>

高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解しているかどうかをみる問いである。

誤答の傾向は全国、兵庫県と同様の傾向を示している。誤答で「4」を選択している児童は、底辺の長さが高さがそれぞれ等しい平行四辺形と三角形において、三角形の面積が平行四辺形の面積の半分であることが理解できていないと考えられる。

指導に当たっては、合同な三角形を組み合わせたたり、平行四辺形を対角線で2つの合同な三角形に分割したりするなど、具体的な図を併用したり、三角形の面積を求める式にある「÷2」の意味を確認することが大切である。

7 「C 図形」

<誤答分析・考察>

立方体の面と面の位置関係を理解しているかどうかをみる問いである。

4分の3以上の児童が理解できているものの、他の選択肢を選び誤答をしている者が全国、兵庫県と比較してやや多い。

指導に当たっては、具体物を用いた立体図形の構成活動を通して、立体図形の面と面の位置関係について理解できるようにする取組などが求められる。

9- (2) 「D 数量関係」

<誤答分析・考察>

資料から二次元表の合計欄に入る数を求めることができるかどうかをみる問いである。

正答率は全国、兵庫県、香美町とも6割前後であるものの、無解答が国、兵庫県の2倍以上見られる。

指導に当たっては、合計欄の意味を理解し、資料を的確に分類整理できたかどうかを判断することができるようにする取組などが求められる。

# 算数B

## 算数B1 数量の関係の考察と一般化（数字カード）

1

1からまでの数字が書かれたカードが5枚あります。

この中から2枚のカードを選び、2けたのひき算の答えについて考えます。

カードを選んだひき算の答え

選んだ2枚のカードを使って、2けたのひき算を2つ作り、大きい数から小さい数ひきます。

例えば、②と⑤を選んだ場合、⑤②と比べると19がつかえます。⑤②と比べると91がつかえます。

2けたのひき算の式 91 = 19  
2けたのひき算の答え 92

選んだ2枚のカードが書かれた数じしんの差で、「カードの差」と呼ぶことができます。例えば、②と⑤の2枚のカードの差は3です。

5や6などは、カードの差が1、2、3の場合について、すべての選び方で2けたのひき算をします。

カードの差が1の場合	カードの差が2の場合	カードの差が3の場合
21 - 12 = 9	31 - 13 = 18	41 - 14 = 27
32 - 23 = 9	42 - 24 = 18	52 - 25 = 27
43 - 34 = 9	53 - 35 = 18	63 - 36 = 27
54 - 45 = 9	64 - 46 = 18	74 - 47 = 27
65 - 56 = 9	75 - 57 = 18	85 - 58 = 27
76 - 67 = 9	86 - 68 = 18	96 - 69 = 27
87 - 78 = 9	97 - 79 = 18	
98 - 89 = 9		

カードの差が1、2、3の場合、2けたのひき算の答えは、それぞれ9、18、27になっています。

カードの差が4の場合、2けたのひき算の答えを1つ書きました。ほか、答えも書きましょう。

例えば、カードの差が2や3の場合、2けたのひき算の答えがそれぞれ18、27になることを、次のように図を使って考えました。

【甲さんさんの考え】

カードの差が2の場合と選んだ53-35の場合  
53が10が5つと1が3つ、35が10が5つと5が1つと5と5と、選んだように考えました。図の中の⑤は10を、①は1を表しています。

例1

53から5を35ひくと、残るは⑤①①の数が残ります。1つ⑤は10、1つ①は1を表しています。

例2

⑤の数が2つ残るから、2けたのひき算の答えは、9×2で、18になります。

カードの差が3の場合と選んだ63-36の場合  
カードの差が2の場合と同じように考えます。  
63から25をひくと、残るは⑤①①の数が残ります。

例3

⑤の数が3つ残るから、2けたのひき算の答えは、9×3で、27になります。

カードの差が1の場合、2けたのひき算の答えが9になることと「数学の達人の考え」を同じように考えます。

②と⑤を選んだ54-45の場合では、どこが残りません。解答用紙の①に⑨を書き入れます。



そうすると、カードの差が1、2、3の場合の2けたのひき算の答えがわかるようになります。

カードの差が1の場合、2けたのひき算の答えは9です。カードの差が2の場合、2けたのひき算の答えは18です。カードの差が3の場合、2けたのひき算の答えは27です。カードの差が4の場合、2けたのひき算の答えは47です。解答用紙に記入することができます。

そうするとさらに、カードの差を使って、2けたのひき算の答えがわかるようになることがありそうです。このまじりを、言葉と数を使って書きましょう。そのとき、「カードの差」、「2けたのひき算の答え」の2つの言葉を使いましょう。

### 1-(3) 「D 数量関係」

#### <誤答分析・考察>

問題に示された二つの数量の関係性を一般化して捉え、その規則性を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問いである。

正答率は全国、兵庫県、香美町とも3割台であるものの、無解答が国、兵庫県に比較してやや多い。

また、誤答率の高い解答例を分析すると、「カードの差が4のとき、2けたのひき算の答えは36になる。」「カードの差が2倍、3倍となると、2けたのひき算の答えも2倍、3倍となる。」など、別の具体例をあげている解答は、9の倍数になるという規則性についてまで記述できていないと考えられる。

指導に当たっては、児童自らが見出した規則性を言葉や式で一般化して、お互いに自分の考えを伝え合ったり、説明し合ったりする学習活動を取り入れていくことが大切である。

2

ゆりえさんは、交流会に来てくれた地域の子ども20人に、お礼の手紙と記念品をいっしょに封筒に入れて送ろうとしています。

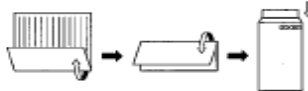
1 送るのにかかる料金は、封筒の大きさによって、次のように決まっています。

1 送るのにかかる料金		
封筒の大きさ	封筒の長さ	料金
小さい封筒	25g 以下	82円
	50g 以下	92円
大きい封筒	50g 以下	120円
	100g 以下	140円
	150g 以下	205円

手紙と記念品を小さい封筒に入れて、1 紙の重さは27gになりました。また、大きい封筒に入れて、1 紙の重さは36gになりました。ゆりえさんは、料金をできるだけ安くするために、小さい封筒に入れて送ることにしました。

11 手紙と記念品を封筒に入れて、20 送るのにかかる料金について考えます。小さい封筒に入れて送る場合は、大きい封筒に入れて送る場合と比べて、何円安く済みますか。適切な言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

小さい封筒に入れるためには、手紙の長さより手紙が3つに折る必要があります。



ゆりえさんは、手紙をなるべく小さい封筒に3つに折るために、長さから3等分する長さを見つける方法を教えてもらいました。

#### ③ 解法する点を表す方法

① 同じにはじきんだ本の平均の重さの、3 本の重さと4 本の重さの差に手紙の長さの同じ長さの線を引く。

② 2 冊目、3 冊目の重さと手紙の長さの同じ長さの線を引く。

同じにはじきんだ本の重さの手紙の、重さの差の同じ長さの線を引くことで、3 冊分する長さを見つけることができるので、

手紙の重さには、同じにはじきんだ本の平均の重さが分かれています。ゆりえさんは、手紙を3つに折るために、5 冊目の重さの差に手紙の長さの同じ長さの線を引くことで、手紙の長さの同じ長さの線を引くことができました。



③ 3 冊目の重さの手紙の長さの同じ長さの線を引くことで、手紙の長さの同じ長さの線を引くことができました。答えを書きましょう。

### 2-(2) 「D 数量関係」

#### <誤答分析・考察>

直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することができるかどうかをみる問いである。

正答率は全国、兵庫県が3割弱であるのに対して、香美町は約2割である。誤答は全国、兵庫県と同様に「上から5本目と10本目」や「上から4本目と8本目」などと解答している選択肢が高い傾向にある。

誤答の要因として、1本目の3等分する直線は、上から4行空けたところにある5本目の直線になるところまでは理解できているものの、2本目の3等分する直線を単純に倍して、10本目と判断したり、手紙の長い辺を3等分する点の、点どうしの間が4行ずつになることは理解しているものの、その間の数を直線の数に直して表現できていないことなどが考えられる。

指導に当たっては、日常生活の問題解決のために、示された方法を解釈し、その方法を問題場面に適用することができるようにすることが大切である。また、算数が、日常生活の問題解決のために役立っていることも実感させたい。

4

学校で、今年進級の標準について、ハンカチとティッシュペーパーを  
持っているかどうかについて調べました。  
ゆづりさんは、調べた結果を次のようにまとめた。

学年	ハンカチを持っていない	ティッシュペーパーを持っていない	両方を持っていない	学年の人数
4年	40	49	2	52
5年	62	61	1	70
6年	52	59	1	60

ゆづりさんが作った表には、ハンカチとティッシュペーパーを  
両方持っていない人数が書いてありません。

ゆづりさんは、ハンカチとティッシュペーパーを両方持っていない人数を  
求めるために、表を次のようにしました。

$70 - 61 = 9$
$9 - 1 = 8$
$62 - 8 = 54$

【ゆづりさんの表】の中の、「9」は、ティッシュペーパーを持っていない  
人数の合計を表しています。この「9」は表の ① に当てはまります。

① 【ゆづりさんの表】の中の、「8」はどのような人数を表していますか。  
言葉を使って書きましょう。  
また、この「8」は、表のどこに当てはまりますか。アからエまでの  
② から④ まで、その番号を書きましょう。

ゆづりさんは、調べた結果をグラフに表して発表しようと考えています。

ゆづりさん

ハンカチとティッシュペーパーの持ち方を、いかによく調べて  
まわりの学年がわかるようなグラフを作りたいです。

ゆづりさん

学年の人数がいろいろで、【学年の人数】をもとにしたと題の  
「ハンカチとティッシュペーパーの両方を持っていない人数」の  
割合がわかりやすいグラフを作りたいと思っています。

② それぞれの学年の、【学年の人数】をもとにしたと題の「ハンカチと  
ティッシュペーパーの両方を持っていない人数」の割合を表すのに、最も  
適したグラフは、次の ア から エ までのうちのどれですか。  
① つづいて、その番号を書きましょう。

③

④

⑤

⑥

#### 4- (2) 「D 数量関係」

##### ＜誤答分析・考察＞

割合を比較するという目的にふさわしいグラフを選ぶことができるかどうかをみる問いである。

正答率は全国、兵庫県が3割弱であるのに対して、香美町は2割弱である。

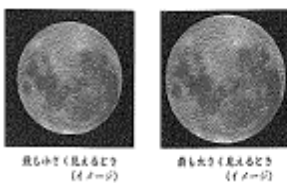
誤答で多い選択肢は「1」と「4」であり、それぞれを3割程度の児童が選択している。これらのグラフでは、各学年の比較はできても、割合に着目して比べることができなったり、割合に着目できていても各学年の比較ができなかったりと、問いに正対した解答になっていない。

指導に当たっては、様々なグラフの特徴を理解し、目的に応じて、適切なグラフを選択できる力を身に付けさせることが大切である。

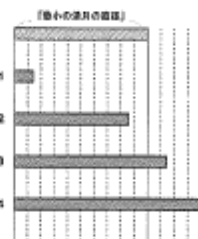
5

月は、地球のまわりを回りながら、地球に近づいたり、はなれ去ったり  
しています。月の大きさは実際には変わりませんが、月の地球に最も近づいた  
ときに、最も大きく見え、地球から最も離れたときには、最も小さく見えます。  
地球から見える満月を同じみて、最も大きく見えるときの見かけの直径を  
「最大の満月の直径」、最も小さく見えるときの見かけの直径を「最小の  
満月の直径」ということにします。

「最大の満月の直径」と「最小の満月の直径」を比べてみると、「最小の  
満月の直径」ももとにすると、「最大の満月の直径」は約1.6倍になります。



① 「最小の満月の直径」を①、「最大の満月の直径」を②として、  
図に貼ります。  
「最小の満月の直径」をもとにして「最大の満月の直径」が1.6倍ある  
ことを表しているものを、次の ア から エ までの中から① つづいて、  
その番号を書きましょう。



月の直径を、硬貨の直径に置きかえて考えます。  
① 円玉、100円玉、500円玉の直径は、それぞれ次のとおりです。

円玉	100円玉	500円玉
20mm	22.6mm	26.5mm

② 「最小の満月の直径」を①円玉の直径としたときに、「最大の満月の直径」  
をもとにして1.6倍あることになる「最大の満月の直径」は、100円玉と  
500円玉のどちらの直径に近いですか。

アの①と②から選んで、その番号を書きましょう。  
また、選んだ理由は③が「最大の満月の直径」に近いと考えたおかげを、  
言葉や式を使って書きましょう。

- ① 100円玉
- ② 500円玉



## 5- (1)、(2) 「C 図形」「D 数量関係」

### <誤答分析・考察>

(1)は、示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断できるかどうかをみる問いである。

全国、兵庫県、香美町とも6割程度の児童が正答している。

誤答で多い選択肢は「4」であり、全国、兵庫県、香美町とも3割程度の児童が選択している。この要因としては、割合と量を混同し、目盛りの数を数えて14目盛りに着目して判断していることが考えられる。百分率について正確に理解することが求められる。

(2)は、身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量に近いものを判断し、その判断理由を言葉や式を用いて記述できるかどうかを問うている。

全国、兵庫県、香美町とも正答率は低く、香美町における無解答の児童は1割以上見られる。解答に当たって、正答の「1(100円玉)」を選んではいないものの、その判断理由を的確に記述できていない児童が3割強、「2(500円玉)」を選んでいるものが4割程度見られる。

日常生活の中には、算数で学習したことを活用して、数理的に処理し、合理的に判断できる場面がある。日々の学習活動の中でも、身近なものに置き換えたときの基準量、比較量、割合の関係を的確に捉え、判断理由を数学的に表現できる力を身に付けさせる機会や場を設けるなどの工夫が求められる。





◆中学校

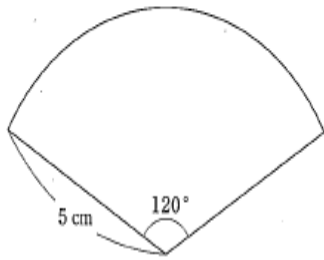
国語A 国語Bとも「該当なし」

数学A

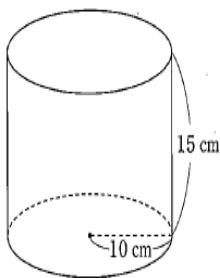
2 次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

(1) 5 mの重さが  $a$  gの針金があります。この針金の1 mあたりの重さは何 gですか。 $a$  を用いた式で表しなさい。

(3) 半径が5 cm、中心角が $120^\circ$ のおうぎ形の弧の長さを求めなさい。ただし、円周率は $\pi$ とします。



(4) 底面の半径が10 cm、高さが15 cmの円柱の体積を求めなさい。ただし、円周率は $\pi$ とします。



2- (1) 「A 数と式」

＜誤答分析・考察＞

数量の関係を文字式で表すことができるかどうかをみる問いである。

正解は、 $a/5$  であるが、 $5/a$  や  $5a$  と解答している生徒が、それぞれ1割程度いる。

本設問を活用して授業を行う際には、針金の重さ「 $a$ 」gを具体的な数に置き換えて針金の重さと長さの関係を捉える活動を取り入れることなどが考えられる。

4- (3) 「B 図形」

＜誤答分析・考察＞

扇形の弧の長さを求めることができるかどうかをみる問いである。

全国、兵庫県とも正答率は3割程度であるが、香美町はその半分程度である。また、無解答の者が全国、兵庫県、香美町とも2割程度いる。

「 $25\pi/3$ 」という誤答もみられ、円周の求め方と円の面積の求め方を混同していると考えられる。

指導に当たっては、画用紙などを用いた具体的な作業を通して、円と扇形を関連づけた学習活動を展開することなどの工夫が求められる。

5- (4) 「B 図形」

＜誤答分析・考察＞

円柱の体積を求めることができるかどうかをみる問いである。

全国、兵庫県とも正答率は5割程度であるが、香美町は4割程度である。また、無解答の者が全国、兵庫県、香美町とも1割弱いる。

「 $1500\pi$ 」が正答であるが、「 $150\pi$ 」という誤答も2割程度みられる。

指導に当たっては、(底面積) × (高さ) が円柱の体積になることを、模型など具体物を使って理解させるなどの方法が考えられる。

14 次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 次の記録は、ある中学校の生徒7人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

40	46	47	48	53	53	56
----	----	----	----	----	----	----

(単位：回)

反復横とびの記録の範囲を求めなさい。

(2) ある市の平成28年6月1日から30日までについて、日ごとの最高気温の記録を調べました。下の度数分布表は、その結果をまとめたものです。

日ごとの最高気温

階級(℃)	度数(日)
以上 未満	
22～24	3
24～26	8
26～28	7
28～30	6
30～32	5
32～34	1
合計	30

22℃以上24℃未満の階級の相対度数を求めなさい。

14—(1)、(2) 「D 資料の活用」

<誤答分析・考察>

「範囲」、「相対度数」の意味を理解しているかどうかをみる問である。

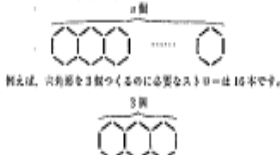
(1) は全国、兵庫県とも正答率は3割程度であるが、香美町は2割程度である。また、無解答の者が全国、兵庫県、香美町とも1割弱いる。

(2) の正解は「0.1」であるが、「3」と解答している者も2割程度いる。

この領域の学習活動の時間が十分に確保できていたかどうか検証してみる必要もあると考えられる。

数学B

2 次の図のようにストローを並べて、六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を考えます。



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を求めなさい。

(2) 図1のようにストローを並べると、六角形をn個つくるのに必要なストローの本数は、次のように表すことができます。



図1

ストローを図1のように並べると、1つの囲みにストローが6本ある。その囲みがn個あるので、この囲みで数えたストローの本数は6n本になる。このとき、重複しているストローが  本あるので、必要なストローの本数は6n本より  本少ない。  
したがって、六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を表す式は、 $6n - 1(\text{  })$  になる。

上の数値の  には、同じ数が当てはまります。  
 には当てはまる式を、nを用いて表しなさい。

(3) 図2のように囲み方を並べてみると、六角形をn個つくるのに必要なストローの本数は、 $6 + 5(n - 1)$  という式で表すことができます。六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を表す式が  $6 + 5(n - 1)$  になる理由について、下の説明を完成しなさい。

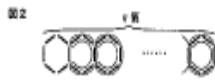


図2

ストローを図2のように並べると、

したがって、六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を表す式は、 $6 + 5(n - 1)$  になる。

2—(3) 「A 数と式」

<誤答分析・考察>

事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して、事柄が成り立つ理由を筋道を立てて説明することができるかどうかをみる問である。

全国、兵庫県とも正答率は1割台であるが、香美町はそれを下回っている。

「囲まれていないストローの本数が6本であること」、「一つの囲みにストローが5本あり、その囲みが(n-1)個あること」などのキーワードをもとに、論理的に記述することに課題がある。

指導に当たっては、日々の学習活動の中でも、根拠を明確にし、筋道を立てて話したり、書いたりする機会や場を設けることが大切である。

## (2) 児童生徒質問紙・学校質問紙に関する調査の状況

### ア 自己変容の状況について

質問紙の経年比較により、今年度の中学3年生（167名）の意識が、小学校6年生（173名）の時（平成26年度）と比較してどのように変化しているか追跡した。

#### <挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感>

\*数字は平成29年度生徒質問紙番号

[% 上段；香美町 下段；(全国)]

質問事項	小6時の回答状況 (H26年度)	中3時の回答状況 (H29年度)	比較 (±2%超で表記)
5) 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	74.0 (75.2)	76.1 (71.0)	
6) 自分には、よいところがあると思いますか。	81.5 (76.2)	71.3 (70.7)	
10) 将来の夢や希望を持っていますか。	90.7 (86.7)	68.8 (70.5)	
51) 学校のきまり〔規則〕を守っていますか。	95.4 (90.5)	98.2 (95.2)	
52) 友達との約束を守っていますか。	99.4 (97.3)	98.3 (97.4)	—
53) 人が困っているときは、進んで助けていますか。		87.4 (84.4)	
54) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	96.4 (96.5)	97.0 (92.8)	—
55) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	95.4 (94.0)	93.5 (91.9)	—
66) 1, 2年生のときに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。		88.0 (76.0)	

#### 〔分析〕

- 挑戦心は、全国ではやや低下しているものの、香美町では3年間の経過の中で、やや高まっている傾向が見られる。しかし、「夢や目標を持っているか。」の回答率が低下しており、将来に向けて夢や志を持って取り組めるよう、更なるキャリア教育の推進などが求められる。
- 規範意識は、全国、香美町ともやや高まっている。特に、「いじめは、どんな理由があってもいけないこと。」という意識が高い。
- 「自分によいところがある。」や「将来人の役に立つ人間になりたい。」という回答率は、全体的に低下しており自己有用感を高めるための手立てを講じていく必要がある。
- 「困っている人を進んで助けたい。」という意識は高い。

## <学習に対する関心、意欲、態度>

\*数字は平成29年度生徒質問紙番号

[% 上段；香美町 下段；(全国)]

質問事項	小6時の回答状況 (H26年度)	中3時の回答状況 (H29年度)	比較 (±2%超で表記)
71) 国語の勉強は好きですか。	61.9 (59.2)	55.1 (60.5)	↓
72) 国語の勉強は大切だと思いますか。	93.6 (91.8)	92.2 (88.8)	—
73) 国語の授業の内容はよく分かりますか。	89.0 (80.1)	72.5 (74.9)	↓
75) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つと思いますか。	89.0 (87.4)	88.6 (83.3)	—
80) 算数・数学の勉強は好きですか。	60.7 (66.1)	38.4 (55.4)	↓
81) 算数・数学の勉強は大切だと思いますか。	94.2 (92.3)	80.8 (81.1)	↓
82) 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。	82.1 (79.6)	58.7 (69.4)	↓
84) 算数・数学の問題の解き方が分からないときには、諦めずにいろいろな方法を考えますか。	80.4 (78.1)	70.6 (73.5)	↓
86) 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。	93.0 (89.0)	76.6 (72.4)	↓

### 〔分析〕

- 国語、算数・数学の各問いとも、小学校から中学校に上がり、回答率は低下傾向にある。特に、中学校における数学については、抽象的思考が求められる度合いが大きくなり、その理解の程度に大きな差が生じていると考えられる。
- いずれの学年でも「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つ」と考えているものの、算数・数学においては、そう考えていない生徒が増加傾向にある。
- 算数・数学の学習をすすめるに当たっては、それらの教科の学習が、キャリア教育の視点から、日常生活と結びついている場面を児童生徒に提示していくなどの工夫改善が求められる。



## <学校生活等、基本的な生活習慣、地域や社会に対する興味・関心>

\*数字は平成29年度生徒質問紙番号

[% 上段；香美町 下段；(全国)]

質問事項	小6時の回答状況 (H26年度)	中3時の回答状況 (H29年度)	比較 (±2%超で表記)
35) 学校に行くのは楽しいと思いますか。	87.9 (86.6)	77.2 (80.9)	↓
39) 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	89.6 (86.5)	87.4 (86.0)	↓
14) 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く) ※2時間未満の児童生徒の率	38.8 (45.0)	51.6 (51.6)	↑
◆ <u>携帯電話やスマートフォンを持っていない。</u>	56.1 (46.3)	21.6 (16.1)	
1) 朝食を毎日食べていますか。	97.1 (96.0)	92.8 (93.2)	↓
43) 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。	66.5 (62.9)	71.9 (59.2)	↑
44) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	38.7 (42.5)	34.3 (33.4)	↓

### 〔分析〕

- 小学校から中学校へ進学し、「学校に行くのが楽しい。」と回答している率が減少している。
- 携帯電話やスマートフォンの所有率が、3年間で34ポイント程度高くなっている。また、普段、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを2時間未満実施している生徒が、小学校6年時に比較して、約13ポイント上昇している。
- 朝食を毎日食べない生徒が、小学校6年時に比較して増えている。
- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心を示す生徒は増えているものの、地域や社会をよくするために貢献しようとする生徒は、やや減少している。







## イ 新しい学習指導要領実施に向けて

(7) 主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善に関する取組状況から

### <分析1>

〔児童生徒への質問〕（小学校55番、中学校57番）

5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。※（ ）内は中学校

【香美町の状況】

- ・児童の回答は「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」をあわせると、約80%ある。また、生徒の回答も80%程度である。
- ・上記のように肯定的な回答をした児童生徒の方が、国語、算数（数学）とも正答率が高い傾向にある。

〔学校への質問〕（小・中学校とも18番）

調査対象学年の児童（生徒）は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか。

【香美町の状況】

- ・小学校、中学校の回答とも「そのとおりだと思う」、「どちらかといえば、そう思う」をあわせると100%である。
- ・学校は上記のように肯定的に回答していても、児童生徒の中には一定の割合で、そう捉えていない者もみられる。

### <分析2>

〔児童生徒への質問〕（小学校60番・中学校62番）

5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。 ※（ ）内は中学校

【香美町の状況】

- ・児童の回答は「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」をあわせると、60%程度である。また、生徒の回答も60%程度であり、昨年度よりも高くなっている。児童生徒とも全国と同程度である。
- ・上記のように肯定的な回答をした児童生徒の方が、国語、算数（数学）とも正答率が高い傾向にある。

〔学校への質問〕（小・中学校とも19番）

調査対象学年の児童（生徒）は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか。

【香美町の状況】

- ・小学校、中学校の回答とも「そのとおりだと思う」、「どちらかといえば、そう思う」をあわせると、小学校では60%、中学校では75%である。
- ・学校は上記のように肯定的に回答していても、児童生徒の中には一定の割合で、そう捉えていない者もみられる。

### <分析3>

〔学校への質問〕（小・中学校とも41番）

調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか。

【香美町の状況】

- ・小学校では、「よく行った」、「どちらかといえば、行った」をあわせると100%である。中学校では75%である。
- ・一方で、中学校で「あまり行っていない」と回答した学校の割合が25%あることが課題である。

### (イ) 教職員の資質能力向上の取組状況から

#### <分析4>

〔学校への質問〕（小学校109番 中学校107番）

学校全体の学力傾向や課題について全教職員の間で共有していますか。

【香美町の状況】

- ・「よくしている」、「どちらかといえば、している」をあわせると、小・中学校とも100%である。

〔学校への質問〕（小学校103番 中学校101番）

児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか。

【香美町の状況】

- ・上記のような学習活動を学ぶ校内研修について、「あまりしていない」と回答をした小・中学校が若干存在する。

(ウ) カリキュラム・マネジメントに関する取組状況から

<分析5>

〔学校への質問〕（小・中学校とも29番）

教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか。

【香美町の状況】

- ・「よくしている」、「どちらかといえば、している」をあわせると、小学校・、中学校とも100%であり、全国と比べてもかなり高い。

〔学校への質問〕（小・中学校とも31番）

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか。

【香美町の状況】

- ・「よくしている」、「どちらかといえば、している」をあわせると、小学校、中学校ともほぼ100%であり、全国と比べても高い。

(エ) 小中連携の取組状況から

<分析6>

〔学校への質問〕（小学校77番 中学校76番）

前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか。

【香美町の状況】

- ・「よく行った」、「どちらかといえば、行った」をあわせると、小学校では70%、中学校では100%の学校が取り組んでいると回答しており、全国と比べても高い。

〔学校への質問〕（小学校78番 中学校77番）

前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか。

【香美町の状況】

- ・「よく行った」、「どちらかといえば、行った」の肯定的回答は、小学校では30%程度、中学校では50%程度に留まる。

〔学校への質問〕（小学校79番 中学校78番）

平成28年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか。

【香美町の状況】

- ・小学校では「よく行った」、「どちらかといえば、行った」の肯定的回答は30%程度に留まっている。一方、中学校では80%弱が「どちらかといえば、行った」と回答している。

(オ) 学習評価の在り方から

<分析7>

〔学校への質問〕（小・中学校とも51番）

調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、児童生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか。

【香美町の状況】

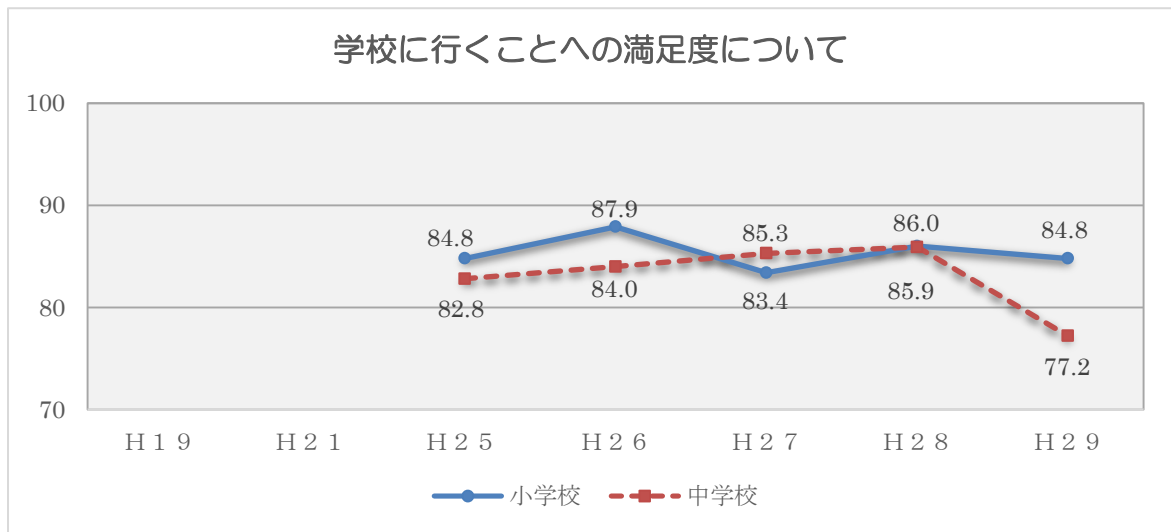
- ・「よく行った」、「どちらかといえば、行った」を合わせると、小・中学校とも100%である。
- ・児童生徒による「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」の肯定的回答割合が年度を追うごとに微増傾向にあることと考え合わせると、香美町教育の重点に示された「ほめる指導」、「認める指導」が浸透しつつあることがうかがえる。



ウ これまでの回答状況の変化から

① 【学校に行くことについて】（学校満足度関連）

※縦軸の単位は%、以下同様



○多くの児童生徒が「学校に行くのが楽しい。」と答えている。平成29年度の生徒においては、「満足度」が少し減少した。

○「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と答えている児童生徒が一定割合いる。

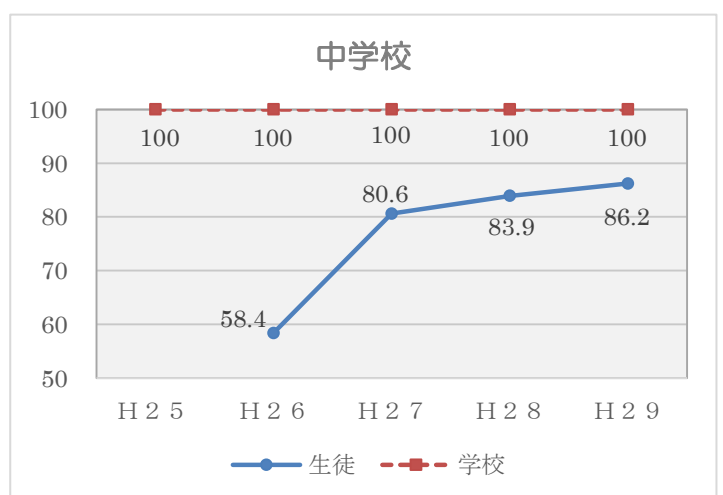
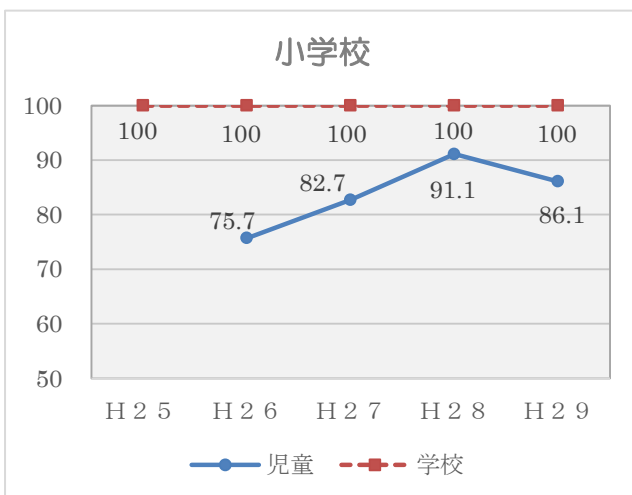
（参考）

第2次香美町総合計画における施策指標では…

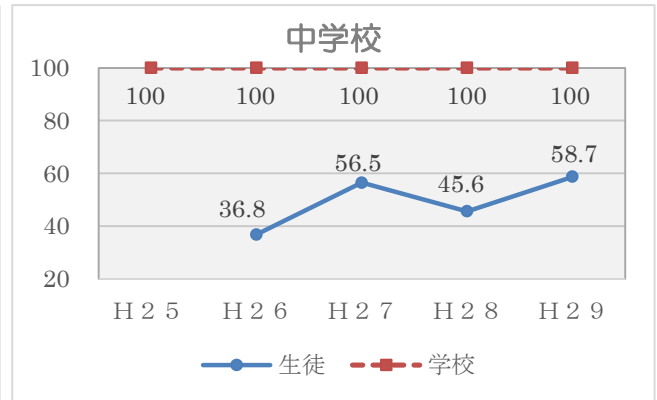
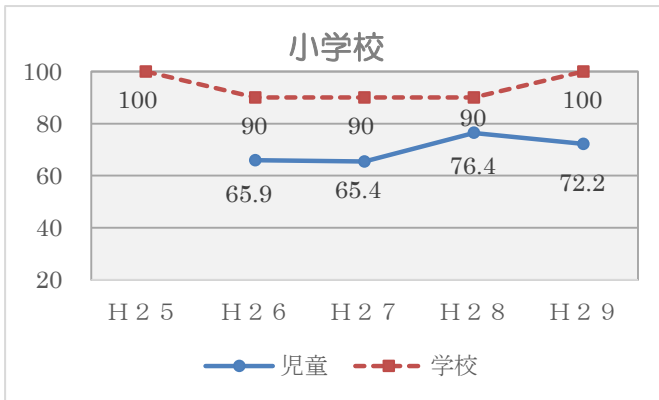
	平成32年度
小学6年生	93%
中学3年生	89%

② 【「見通し・振り返り」学習活動の状況について】（授業改善関連）

☆授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を取り入れている学校の割合と、目標が示されていると思う児童生徒の割合の推移

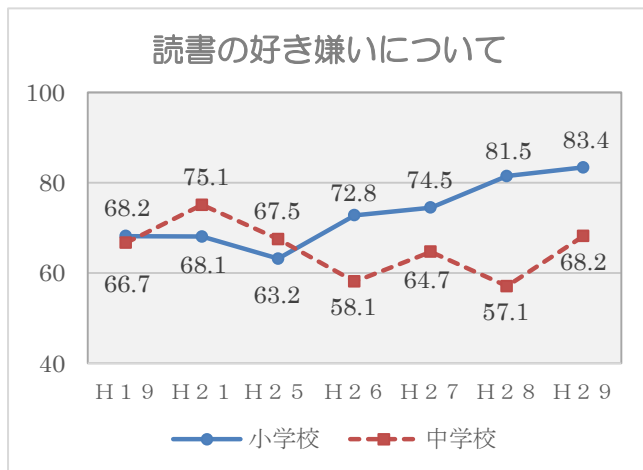


☆授業の最後に学習内容を振り返る活動を計画的に取り入れている学校の割合と、活動をよく行っていると思う児童生徒の割合の推移

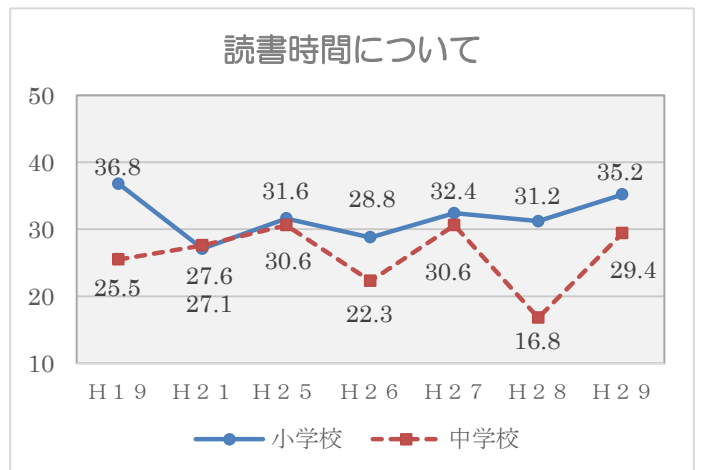


- 昨年度まで同様に、多くの学校が、授業の中で「目標（めあて・ねらい）を示す活動」を実施していると回答しており、年毎に児童生徒の意識も高まり、学校と児童生徒との意識のずれが縮小する傾向にある。特に中学校において顕著である。
- 授業の最後に「振り返り活動」を実施する小学校と児童との傾向は、上記と同様であるが、中学校では、学校と生徒の意識の差は縮まりつつあるものの、小学校に比べ、やや大きい。

### ③【読書活動について】（「3つの町民運動」関連）



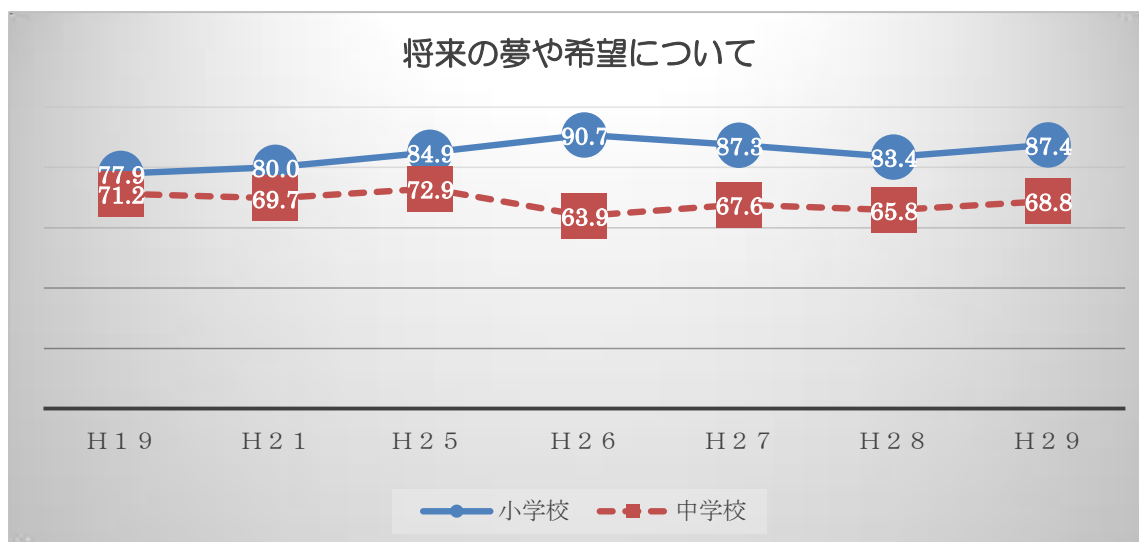
(注) 「読書が好き」の割合の推移



(注) 平日、学校の授業時間以外に30分以上読書する児童・生徒の割合の推移

- 1日当たり、読書時間と正答率の関係については、有意な差はみられないと考えられる。(クロス集計ページ参照)
- 読書好きの児童生徒が増加しつつある。また、読書時間についても微増傾向にある。
- 小学校・中学校とも「3つの町民運動」における「読書」の取組において、一定の成果が現れつつあると考えられる。

④【将来の夢や目標について】（キャリア教育推進関連）



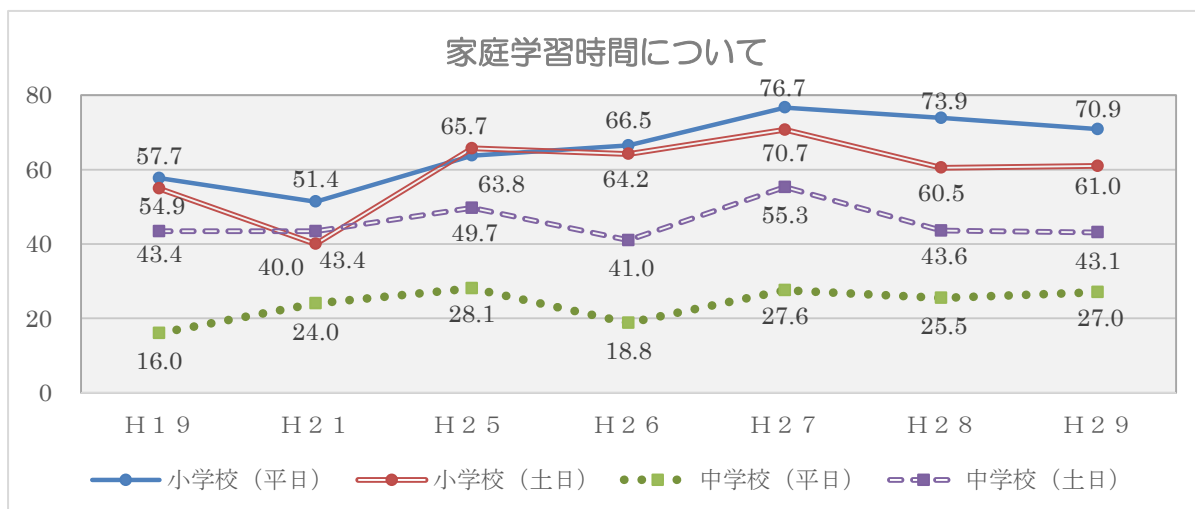
- 平成29年度は、小学校、中学校とも昨年度よりも増加している。
- 「将来の夢や目標を持っていますか。」の問いに対して、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答している割合は、児童では80%台程度で推移している。一方、生徒では70%前後で推移している。
- 今後とも、校種間の連携を図りつつ、キャリア教育の推進体制の整備を図り、児童生徒が、社会の変化を乗り越え、高い志や意欲を持つ自立した人間として、未来を切り拓いていく力を身に付けることができるよう取り組んでいくことが求められる。

(参考)

第2次香美町総合計画における施策指標では…

	平成32年度
小学6年生	95%
中学3年生	80%

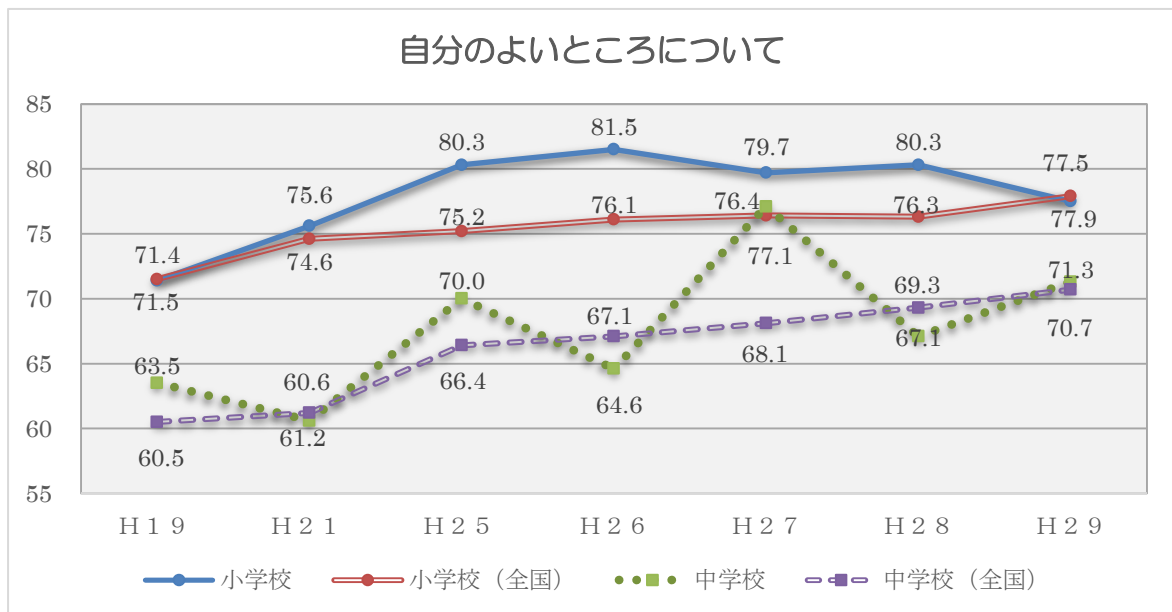
⑤【家庭学習について】（キャリア教育推進関連）



(注) 児童…1時間以上(平日・土日とも)、生徒…2時間以上(平日・土日とも)

- 家庭学習の習慣が、児童生徒ともに着実に定着しつつある傾向がうかがえる。
- 生徒では、これまで同様、平日の家庭学習時間が「2時間以上」と回答している者の割合が、各年度とも土日に比べて少ない。原因としては、部活動等で学校滞在時間が長く、帰宅後も、その疲労などから家庭学習の時間が十分に確保できていないことなども考えられる。
- 今後とも、キャリア教育推進の取組の一環として、「家庭学習」の重要性を児童生徒に認識させるとともに、校区内の小学校・中学校が連携しあって取り組むことが大切である。

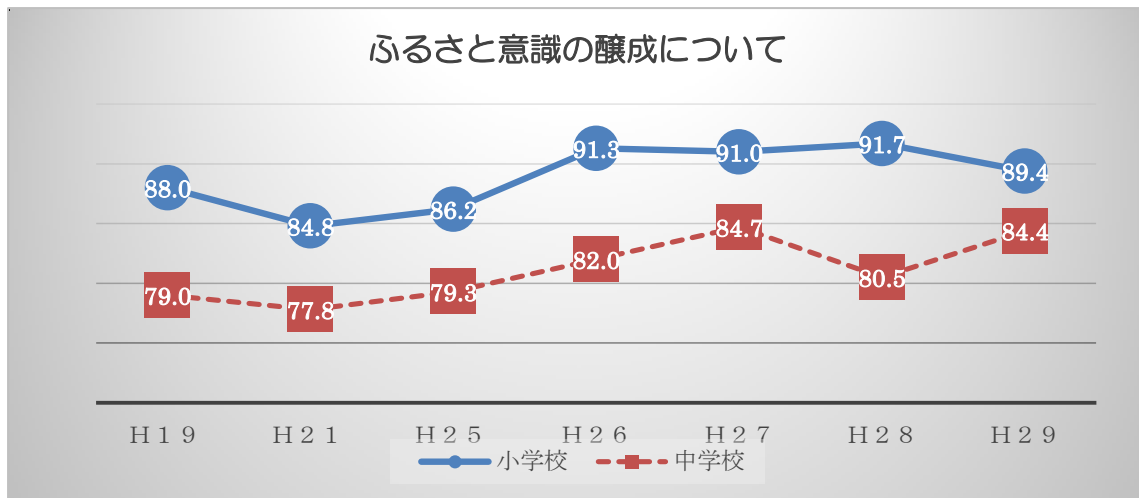
⑥【自尊意識について】



- 平成29年度は、小学校はやや減少しているものの、中学校は昨年度よりも微増している。
- 「自分には、よいところがあると思いますか。」の問いに対して、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答している割合は、小学校児童では80%程度で推移している。一方、中学校生徒では70%前後である。
- 小学校児童に比べて、中学校生徒の割合が低いこと、「どちらかといえば、当てはまらない」、「当てはまらない」と回答している者が、それぞれ20%、30%程度いることが課題である。
- 授業や学校行事など、様々な機会や場を通して、子どもたちの成功体験を価値付けし、達成感や成就感を持たせることが大切である。



⑦【ふるさと意識の醸成について】（「ふるさと教育」推進関連）



○ 児童生徒とも、「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」の問いに対して、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答している割合は高いが、児童の方が生徒よりも高く推移している。

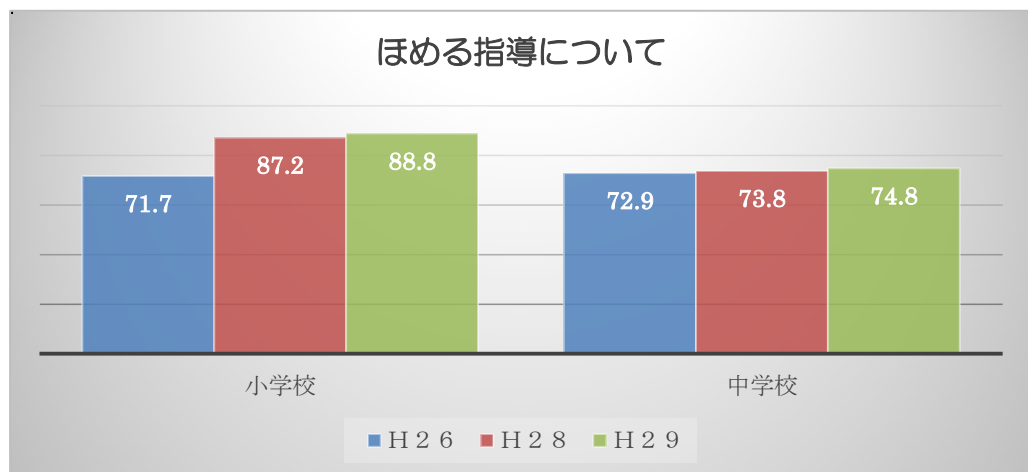
○平成29年度は、児童はその割合はやや低くなっているものの、生徒は高くなっている。

○小・中学校とも、「ふるさと教育」の取組成果が浸透しつつあることがうかがえる。  
（参考）

「今住んでいる地域が好きですか。」（平成19年度調査）の問いに対して、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童（小学校6年生）生徒（中学校3年生）の割合は次のとおりである。

児童	84.8%
生徒	73.1%

⑧【教師が児童生徒のことを認めることについて】（「ほめる指導」「認める指導」関連）

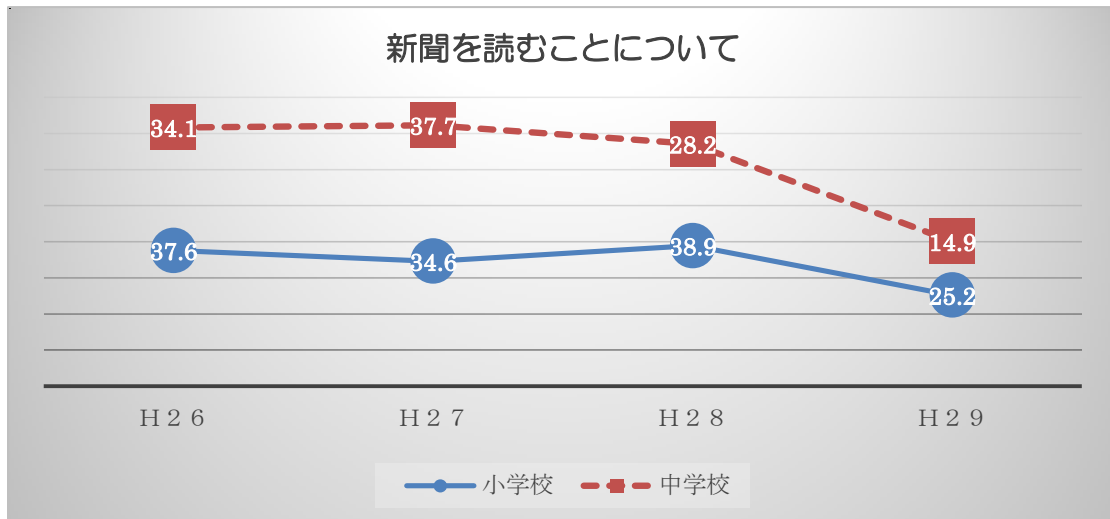


○ 小学校・中学校とも、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」と回答している児童生徒の割合は、年度を追うごとに微増傾向にある。

○ 「香美町教育の重点」に示された「ほめる指導」、「認める指導」の推進が浸透しつつあることがうかがえる。

○今後とも、その充実を図り、児童生徒の内発的学習意欲の向上に繋げる取組が求められる。

⑨【新聞を読むことについて】（社会に対する興味・関心）



（注）平成25年度は、香美町小・中学校は本質問番号を選択していないためデータなし

- 「毎日読む」、「週に1回～3回読む」を合わせても、過去3年間、いずれも40%に満たない程度であったが、平成29年度は、さらに減少傾向にある。
- 教科の調査結果とのクロス集計では、新聞をよく読んでいる児童生徒ほど教科の正答率が高い傾向にあり、日常生活の中で新聞の活字に機会あるごとに触れたり、新聞を日々の授業実践の中で活用したりしていくことなどが求められる。

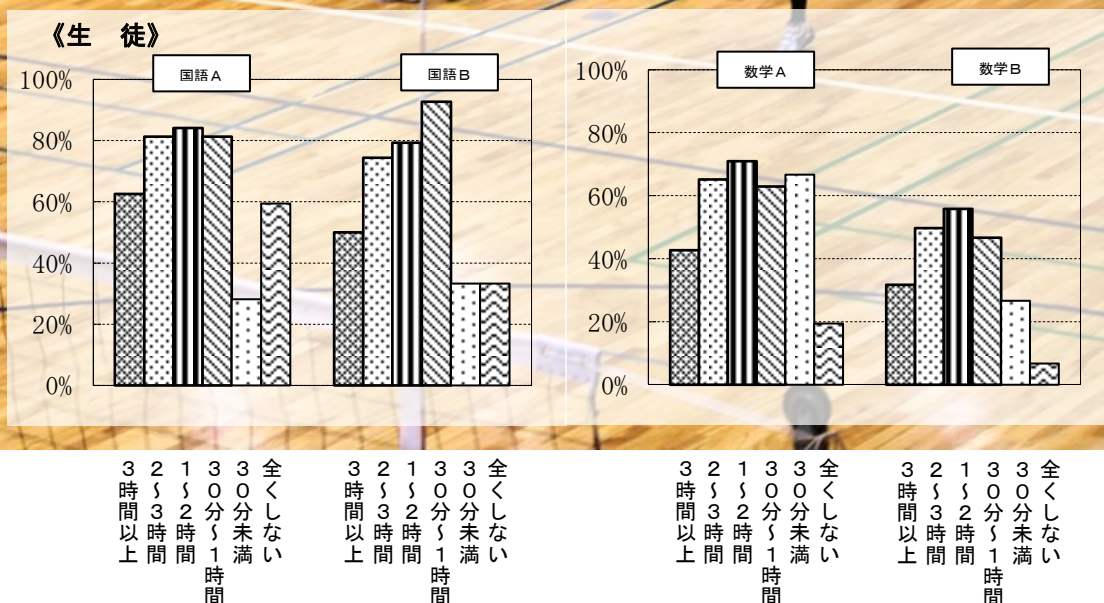
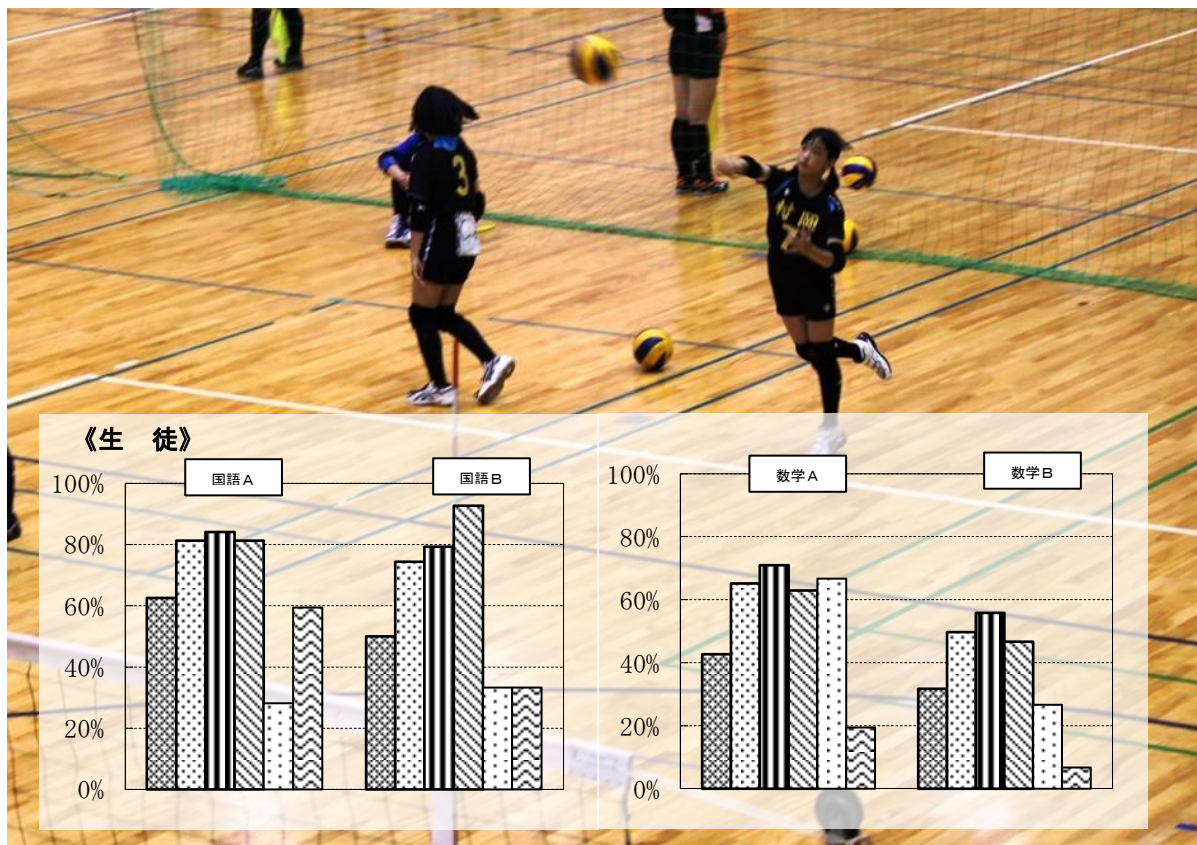


### (3) 質問紙と学力のクロス分析の状況

#### <部活動実施と正答率の状況について>

##### ◆児童・生徒が回答した選択肢別の平均正答率

質問番号	質問事項
中(21)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、部活動をしますか(新規)



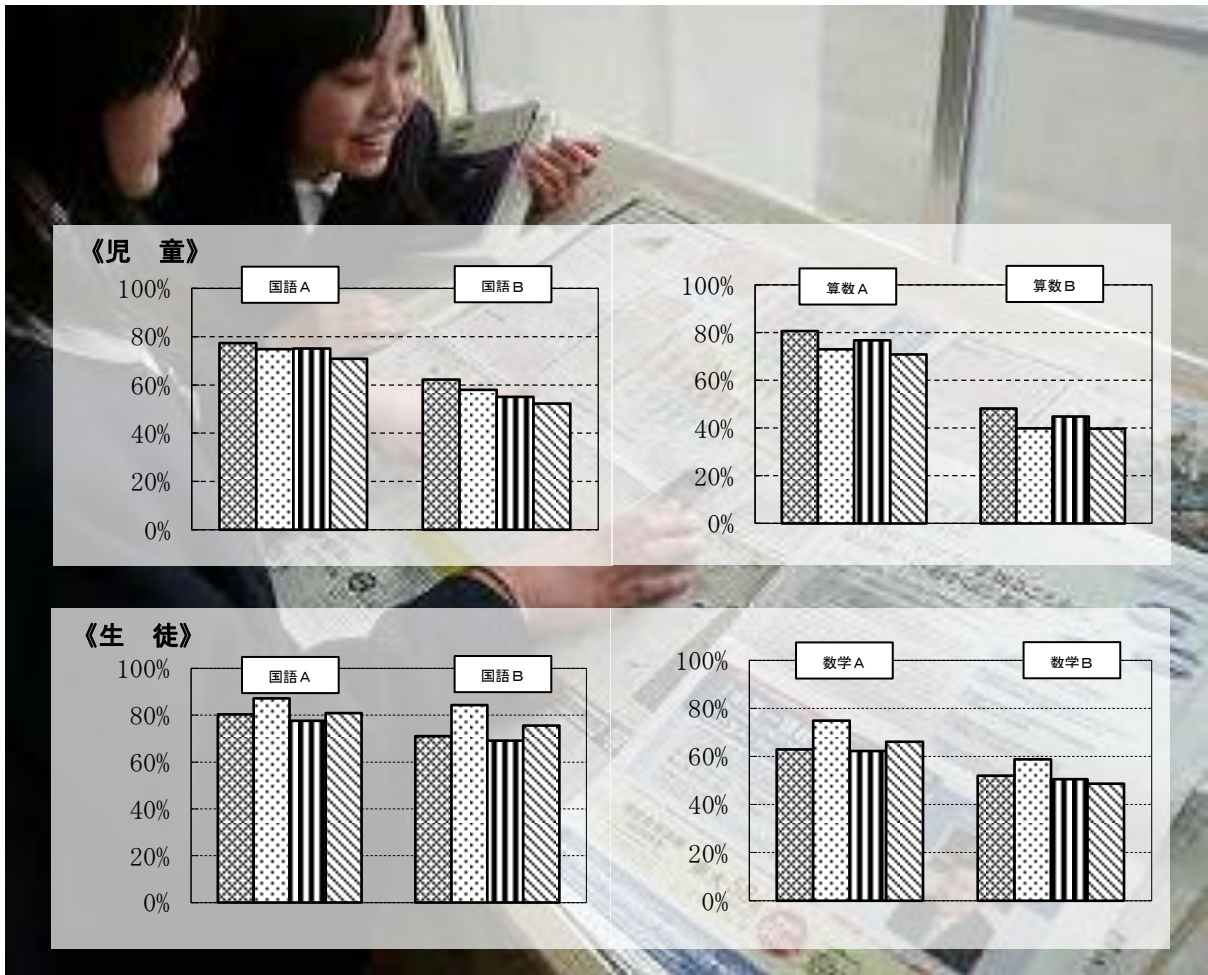
#### [分析及び考察]

- 国語A、数学A、数学Bにおいては、1日当たりの部活動の実施時間が「1～2時間」と答えている生徒の正答率が最も高い。
- 国語Bにおいては、1日当たりの部活動の実施時間が「30分～1時間」と答えている生徒の正答率が最も高い。
- 3時間以上、部活動をしている生徒の各正答率は、低い傾向にある。
- 文部科学省は、「部活動と正答率の因果関係は分からない。」とコメントしているが、本町においても同様と考えられる。
- 兵庫県では、生徒への過重な負担を考慮して、土・日曜日、祝日における練習等についても特段に留意するよう各学校に求めるとともに、「いきいき運動部活動」啓発リーフレットの発行や「ノー部活動デーの設定」、定期的な「運動部・文化部練習実施状況調査」の実施などの取組を進めている。
- 本町においても、今回の調査結果やこれらの取組を踏まえ、学校教育活動の一環として、生徒にとって意義ある部活動にしていくことが求められる。

## <「新聞を読むこと」と正答率の状況について>

### ◆児童・生徒が回答した選択肢別の平均正答率

質問番号	質問事項
小(45)、中(47)	新聞を読んでいますか



毎日読む  
週に1〜3回程度読む  
月に1〜3回程度読む  
ほとんど読まない

毎日読む  
週に1〜3回程度読む  
月に1〜3回程度読む  
ほとんど読まない

毎日読む  
週に1〜3回程度読む  
月に1〜3回程度読む  
ほとんど読まない

毎日読む  
週に1〜3回程度読む  
月に1〜3回程度読む  
ほとんど読まない

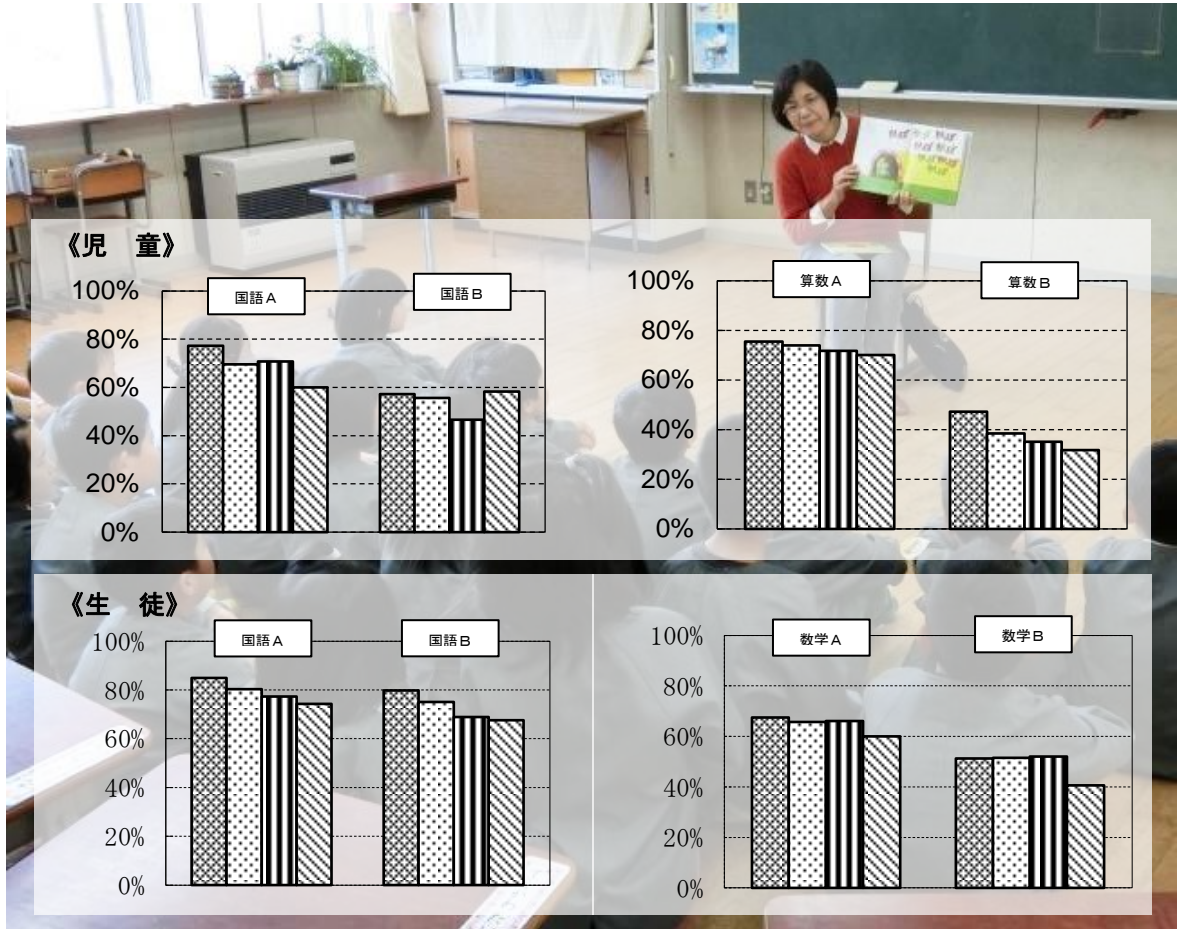
### 【分析及び考察】

- 国語A・Bでは、児童生徒とも「毎日読む」、「週に1〜3回程度読む」と回答しているの方が正答率が高い傾向にある。
- 算数A・Bでは、「毎日読む」と回答している児童の正答率が最も高い。
- 数学A・Bでは、「週に1〜3回程度読む」と回答している生徒の正答率が最も高い。
- 新聞を読む頻度の違いはあるものの、「新聞を読むこと」が、日々、活字文化にふれ、論理的に考えたり、思考したりする機会となっていると考えられる。

## <「読書が好きか」と正答率の状況について>

◆児童・生徒が回答した選択肢別の平均正答率

質問番号	質問事項
小 (72)、中 (74)	読書は好きですか



当てはまる  
 どちらかといえば当てはまる  
 どちらかといえば当てはまらない  
 当てはまらない

当てはまる  
 どちらかといえば当てはまる  
 どちらかといえば当てはまらない  
 当てはまらない

当てはまる  
 どちらかといえば当てはまる  
 どちらかといえば当てはまらない  
 当てはまらない

当てはまる  
 どちらかといえば当てはまる  
 どちらかといえば当てはまらない  
 当てはまらない

### 【分析及び考察】

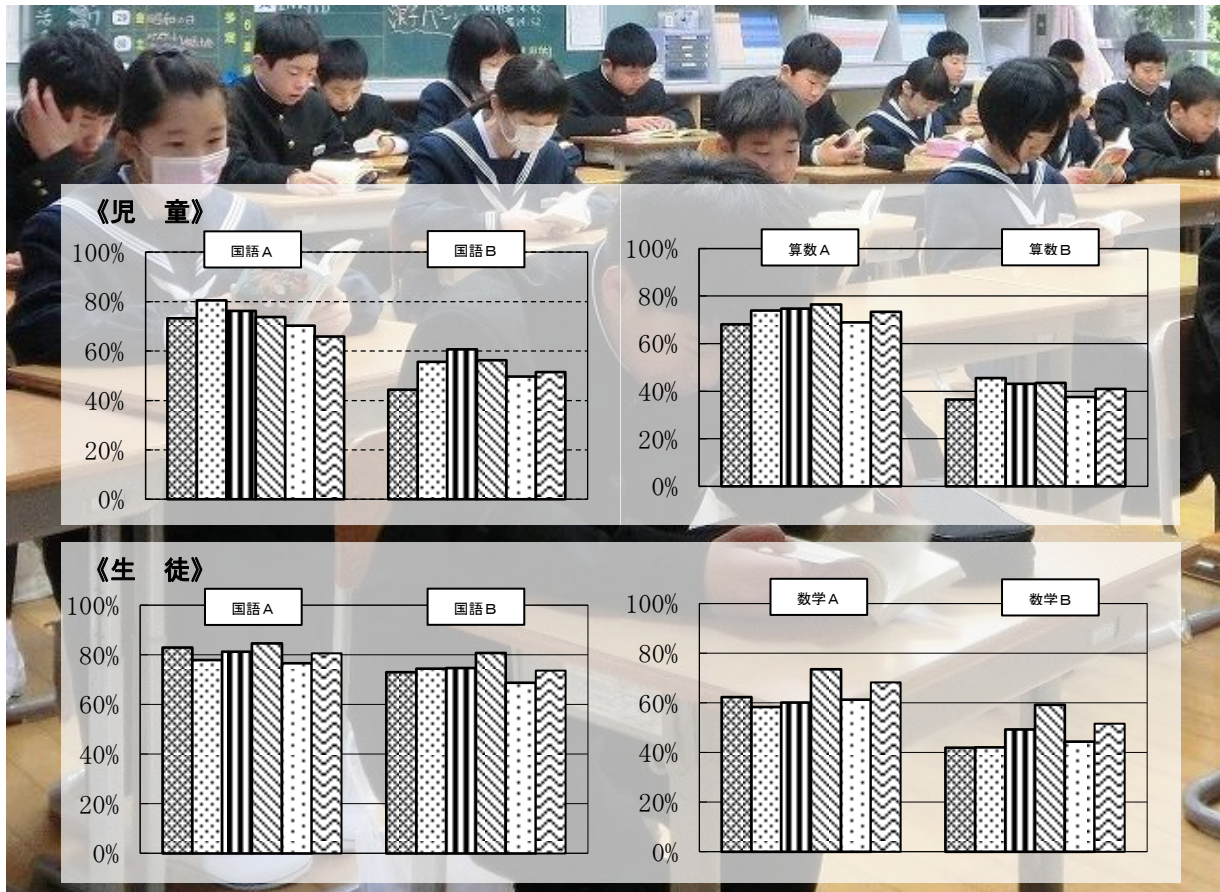
- 「読書が好きですか」の問いに対して、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答している児童生徒の方が、国語A・B・算数（数学）A・Bとも正答率が高い傾向がみられる。
- 児童生徒の読書意欲を高めるための一層の工夫が求められる。



## <「読書時間」と正答率の状況について>

### ◆児童・生徒が回答した選択肢別の平均正答率

質問番号	質問事項
小(18)、中(18)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間読書をしますか (教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 2時間以上<br>1時間以上<br>30分以上<br>10分以上<br>10分より少ない<br>全くしない | 2時間以上<br>1時間以上<br>30分以上<br>10分以上<br>10分より少ない<br>全くしない | 2時間以上<br>1時間以上<br>30分以上<br>10分以上<br>10分より少ない<br>全くしない | 2時間以上<br>1時間以上<br>30分以上<br>10分以上<br>10分より少ない<br>全くしない |
|---|---|---|---|

### 【分析及び考察】

- 国語・算数(数学) A・Bのいずれにおいても、読書時間の多少による有意差はみられないと考えられる。



学校では

**魅力ある授業づくりを！**

～「学ぶ授業」から「学び合う授業」への転換を図る～

児童生徒の「学びに向かう力」を高めるためには、指導者は子どもたちの実態に学び、学力や学習状況の把握に基づく、きめ細かな学習指導に取り組むことが大切です。

＜授業実践のポイント＞

- 「めあて・学習課題や学習の流れ」の提示、「振り返り」活動を取り入れる。
- 新学習指導要領改訂のポイントを踏まえるとともに、指導形態や指導方法の工夫改善を図り、授業の展開の中に、「書く活動」、「発表や話し合う活動」などを取り入れる。
- ICT機器の活用を図ったり、体験的な活動などを取り入れたりする。
- 「ほめる指導」を大切にする。

**学びの連続性のある取組を！**

～小中連携、小中一貫化の取組を通じた交流の質的高まりを図る～

子どもたちの学びの連続性を保障するためには、校種間の枠を越え、義務教育9年間を通して児童生徒に必要な資質・能力を育むことが大切です。

＜実践のポイント＞

- 中学校区で「目指す子ども像」を共有し、合同研修会などを通して指導方法や指導体制等の工夫改善を図る。
- 9年間を見通したカリキュラムづくりや授業研究や研修会、乗り入れ授業などに取り組む。
- キャリア教育の視点から「家庭学習のきまり」を作成するなど、中学校区で学習への目的意識を持たせる系統的な指導をすすめる。

**小規模校ならではの特色を生かした取組を！**

～「学校間スーパー連携チャレンジプラン」の充実を図る～

小規模校のよさを生かし、きめ細かな指導をすすめるとともに、小規模校の課題を克服し、子どもたちの主体性、望ましい競争心などを育てることが大切です。そのために、「学校間スーパー連携チャレンジプラン」に取り組み、多人数の学習集団や複数教員による複眼的な指導により子どもたちの学力や人間関係力を高めていきます。

＜実践のポイント＞

- 事前、事後の打合せや研修を充実させ、他校の教員の実践からも学び合うなど、自らの授業改善に生かす。
- 取組成果や課題の可視化を図り、次の取組につながる評価などについて検討する。

## 家庭・地域では

### 家庭は子どものよりどころ、すべての教育の出発点 地域の子どもは地域で育てる機運を盛り上げよう！

子どもたちが安心して学びに向かうためには、学校にとって家庭や地域の協力は不可欠です。家庭で読書や家庭学習などに積極的に取り組んだり、家の人と学校の出来事について話をしたりする児童生徒ほど、学力・学習状況調査の正答率は高い傾向にあります。

また、地域には学校での学習につながる教育・学習資源や人材が豊富です。地域に学び、子どもたちのふるさと意識を醸成していくことは、将来の香美町を支えていくためにも大切です。「オープンスクール」、「学校版教育環境会議」など、様々な機会や場を通して、学校と家庭・地域がいっしょになって子どもたちを育てていきましょう。

#### <実践のポイント>

- 規律ある生活（早寝、早起き、朝ごはん等）の習慣化
- 家庭学習の習慣化（「ながら勉強ゼロ」など）
- 家庭で読書に親しむ環境づくり（「親子で読書」「あった家読書」など）
- スマートフォンなど情報通信機器利用に関するルールづくり
- 子育て、しつけの中での「ほめる」、「認める」の実践
- 地域行事への参加などを通じた「ふるさと意識」の醸成
- 「あいさつ運動」の推進や「ふるさとものしり博士」などによる学校支援 等

## 行政では

### 学校・家庭・地域への支援を！

教育委員会では、「ふるさとに学び 夢や志を抱き ふるさと香美を大切に作る人づくり」を目指し、「香美町教育振興基本計画」や「香美町教育の重点」に基づき、香美町の教育を推進していきます。そのために、各学校の教育充実を図るとともに、家庭・地域での様々な取組を支援していきます。

- 各種研修会の実施
- ホームページ、町広報誌などによる情報提供
- 各種事業の実施（ふるさと教育交流会、ふるさとおもしろ塾、ふるさと給食試食会など）
- 学校等の施設設備など、教育環境の充実 等

◆ 問題文や各質問紙の詳細は、国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>